

## 【3月の注意点；黄砂・花粉・地震/火山・受験・感染/ワクチン】

新型コロナの感染状況がなかなか落ち着きませんね。3月は最も引き金の多い時期でもあり、どなたにおいても体質の酸性化が進みます（悪化します）からこの状況は仕方ないと思います。とはいえ「当たり前の自由を奪われる見えないストレス」は確実に皆さんの酸性度にも影響していますから、何事も無理なく『ほどほど』の感覚をご自身の判断基準として忘れませんように。

仕事や生活圏によって、ウィルスに対する感じ方も異なると思いますが、暖くなることで、そしてワクチンによる集団免疫の確保によって、少しずつ解決に向かってくれることを願います。

当院では、コロナウィルス、そしてワクチン（ファイザー・モデルナ）に対するアレルギー除去を、ワクチンの接種の有無に関わらず順次全員に行う予定です。

集団免疫を目指す中での世界中でのワクチン接種ですから、できるだけ多くの方が打つことでその目的が達成されます。しかし義務ではありませんし、いろいろな情報も出回っています。当院としては、体が「ワクチンを打ってもOK」といっている人は打って問題ないと考えます。しかし体が「ワクチンはちょっと待って！」という人は、まずワクチン自体のアレルギー除去をしてから、再度体の声を筋力反応で確認します。

それでもまだ体が打たないで！という人は、ワクチンを打つことで異物が体に入り、そこで起こる免疫反応や感染源の活性化やその毒素によって体調を崩す可能性がある、ということです。「ワクチンを打って大丈夫ですよ」というサインが体から確認できるよう施術を進めていきます。

当院スタッフはすでにワクチンに対するアレルギー除去を済ませています。何人かの患者さんも済ませております。これまでにワクチンに対するアレルギー除去による大きな弊害はみられておりません。

まずは自分・家族・社会のために自分ができることを、自分の物差し（判断基準）で選択すべきと考えます。

「打つ」も「打たない」も個人の権利です。

例えばですが、私（斉藤）個人は、コロナウィルスやワクチンに対するアレルギー除去を済ませ、体液での自己治療（これは新型コロナウィルスや変異株、それ以外の感染源対策です）も適宜行うことで「ワクチンを打たない」という選択をしていますが、ワクチン接種が海外渡航の条件になるのであれば、当然接種します。

ワクチン接種をしたら、その直後から3～4日間（もしくは不快感が続く間）は、適宜体液での自己治療を続けます。そうすることで副反応が出現する可能性を排除します。

まず義務として自分が知りえる対策をとった上で権利を行使するのが大人としての振る舞いかと思います。

という訳で、当院では全員にコロナウィルス・コロナワクチンに対するアレルギー除去を行い、そして体調に依じて体液（唾液・尿）でのゲートマッサージをお勧めしています。

世の中には情報があふれすぎています。そしてその情報の真偽は確認のしようがないものばかりです。

当院ではいつも筋力検査を用いた「患者さん一人一人の体の声」を第一の判断基準とします。そのうえで世の中の情報も参考に取り入れ、最終的には「第一主治医であるご自身」に選択していただきます。

いろいろな情報があることが有利になる人と不利になる人がいます。情報がありすぎて悩む人は、むやみに情報をとってはいけない人です。自分の脳が処理できる・納得できる情報だけを取り入れるべきです。

自分を自分で守るためには、他人と比べず、「知らぬが仏」の方が上手くいくのですよ。

前置きが長くなりました。

このところ各地で地震が起きていますが、大潮（満月・新月前後）が重なるときにはさらに注意が必要です。  
3月の大潮のエネルギーは強いので、3月は「毎日大潮」と認識しておいたほうが間違いありません。

例年、1～3月は地震月、そして1～4月は黄砂・花粉月です。

エネルギーの流れは、自分にはどうしようもないところで起き、それが地球上全ての生物に影響しています。

太陽宇宙系→地球→地球内部及び外部の変化→内部（地震・火山・温度変化）、外部（気流・天候の変動）→動植物に直接影響しています。

その結果として偏西風が吹き、大気汚染物質をのせた黄砂が大量に舞い、花粉が飛び、花が開き、葉をつけていきます。冬眠している動物は起きだし、餌を求め、活動を開始します。

前頭葉の発達した人間はそれによって意識的に行動が変わることはないのですが、無意識的に勝手に体は反応しています。血圧・血糖・コレステロールの上昇、痛み・かゆみの悪化、メンタル症状の悪化、病理の発症、事故・怪我・転倒・転落・死など、人生における心身の健康面における変化・変動を生じます。

興味のある方は、以下のような様々な宇宙磁場・地球・気圧・黄砂・大気汚染物質・花粉関連の情報がネットで確認することができます。

- \*世界中の地震の発生状況：USGSのサイト (<https://earthquake.usgs.gov/>)
- \*気象庁震度データベース (<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.html>)
- \*世界中の落雷の発生状況：Blitzortung.orgのサイト (<https://map.blitzortung.org/>)
- \*太陽の活動状況：宇宙天気予報センターのサイト (<https://swc.nict.go.jp/trend/>)
- \*気圧の変動予測：頭痛一るのサイト (<https://zutool.jp/>)
- \*環境省黄砂飛来情報：黄砂ライダー (<http://www2.env.go.jp/dss/kosa/>)
- \*環境省大気汚染物質広域監視システム：そらまめ君 (<http://soramame.taiki.go.jp/>)
- \*環境省花粉観測システム：花子さん (<http://kafun.taiki.go.jp/index.aspx>)

3月に入って太陽の活動も不安定になっていましたので、太陽フレア・地震・火山・大潮・強風・低気圧など、自分が避けられない宇宙磁場変動に敏感な方は、まず弱アルカリ対策（いつもの引き算+足し算）をとった上で、自分に有効な薬（タイレノール・五苓散・抗ヒスタミン・H2ブロッカーなど）を体調に応じてお使いください。特に受験生は本番に強くなるためにも、十分な体調管理を怠りませんように。

体調管理として薬を使っても構いませんが、当院としての「薬を使う基準」は、不快症状によって寝れない・食べれない・仕事（勉強）にならないです。不快症状を緩和するための薬（消炎剤・抗ヒスタミンなど）を使っても30分以内に変化なければ、それではないと判断します。その理由に応じた対策、そして引き金に反応する酸性体質であることをまずは反省して、弱アルカリ対策に意識を集中していただく必要があります。

弱アルカリ対策の要は、食事における栄養素バランスが整っているか、そして重曹クエン酸水+必要な弱アルカリサプリ（ビタミン・ミネラル・ハーブ類）によって、朝一番尿のpHが下段を維持できているかです。  
まずは朝一番尿のpH（体の声）を毎日観察し、その傾向を自分なりに探してみましょ。その体の声を参考に施術を進め、栄養素の微調整をしながら、お花見の季節を密を避けながら楽しみましょ。